

< 部会での検討概要 >

1. 開催概要

	開催日時	開催場所	出席委員
第1回部会	平成28年7月8日(金) 14:00～16:00	尼崎市すこやかプラザ 多目的ホール	土井会長・石塚委員・ 西田委員・野口委員・ 野津委員
第2回部会	平成28年8月18日(木) 14:00～16:00	尼崎市すこやかプラザ 多目的ホール	土井会長・西田委員・ 井原委員・後藤委員・ 高尾委員

2. 検討テーマとその背景

第1回部会

子育て世帯の定住促進について

尼崎市では、人口が減少傾向で推移しており、特に子育て世帯の転出超過が著しく、子育て世帯の転出超過が解消すれば、転入超過に転じる。

持続可能で活力あるまちづくりを進めるためには、「子育て世帯の定住促進」を交通面から支援することが求められる。

バスサービスの向上

尼崎市では、平成28年3月に市営バスが民営化されている。

路線バスは、誰もが利用できる交通手段として様々な役割を担っており、利用者が減少傾向にある中で、路線バスサービスの向上が求められる。

第2回部会

地域特性を活かした自転車交通施策の推進について

尼崎市は、平坦な地形であることから、移動手段として自転車が多く利用されている。自転車は、健康や環境面で優れている一方、交通事故や放置自転車、マナー等の問題も多い。

今後も増加が予想される自転車交通への対応が必要である。

高齢者・障害者の移動環境の向上について

尼崎市の高齢化率は現状で2割を超えており、今後も高齢化は進展するものと予想されている。

また、尼崎市は、近隣都市と比較して人口1人当たりの障害者人数が多い。交通弱者である高齢者・障害者に対応した移動環境の向上が求められる。

### 3. 検討結果

#### 第1回部会

##### 子育て世帯の定住促進について

###### 【 現状と課題 】

- ・ 子育て世帯の転出超過
- ・ 求められるファミリー向けの住宅からの移動環境の充実
- ・ 徒歩が少なく自転車利用の多い子育て世代（女性）
- ・ クルマ移動制約者が多い子育て世代（女性）
- ・ 「治安やマナーが悪い」都市イメージ
- ・ 求められる子供が安全に外で遊べる子育て環境

###### 【 交通政策の方向性 】

- ・ 安全・快適な歩行や活動の空間
- ・ 多様な目的に対応した自転車利用環境
- ・ 円滑に移動できる公共交通

###### 【 方向性に対応した施策案 】

- < 安全・快適な歩行や活動の空間 >
- < 多様な目的に対応した自転車利用環境 >
  - ・ 道路の再配分等による歩行・自転車や活動の場の創出
- < 円滑に移動できる公共交通 >
  - ・ 子育て世帯へのバス利用の助成（子育て支援パス制度の創設等）
  - ・ 移動目的等に対応するバスネットワークの改編

## バスサービスの向上について

### 【 現状と課題 】

- ・子育て世代や高齢者・障害者の重要な移動手段であるバス
- ・求められる利用者ニーズに合ったバス路線
- ・割引制度のない運賃体系
- ・よいとは言えないバス待ち環境
- ・わかりづらい運行情報

### 【 交通政策の方向性 】

- ・利用実態を踏まえたバスネットワークの充実
- ・利用しやすい運賃体系の導入
- ・誰もが利用しやすいバス利用環境の向上
- ・バス路線維持に向けた市民の参画と協働の推進

### 【 方向性に対応した施策案 】

- < 利用実態を踏まえたバスネットワークの充実 >
  - ・移動目的等に対応するバスネットワークの改編
  - ・南北幹線バス路線の強化
  - ・駅前のトランジットモール化
- < 利用しやすい運賃体系の導入 >
  - ・駐輪場定期券でのバス運賃割引制度の導入
  - ・バスの乗り継ぎ運賃制度の導入
  - ・商業施設や公共施設と連携した割引やポイント制度の導入
- < 誰もが利用しやすいバス利用環境の向上 >
  - ・地域と連携したバス待ち環境の改善
  - ・わかりやすいバスの行き先表示の推進
- < バス路線維持に向けた市民の参画と協働の推進 >
  - ・マイバス意識の醸成に向けた広報活動の推進
  - ・モビリティ・マネジメントの推進（学校、地域、企業等）
  - ・地域公共交通を住民が支える仕組みの構築

## 第2回部会

### 地域特性を活かした自転車交通施策の推進について

#### 【 現状と課題 】

- ・ 高い自転車利用割合
- ・ 市外からの移動も多い自転車
- ・ 整備が進む都市計画道路
- ・ 改善したものの以前として多い放置自転車
- ・ 兵庫県内で最も多い人口当たり自転車関連事故件数
- ・ 摘発件数が兵庫県内で最も多い自転車による危険行為

#### 【 交通政策の方向性 】

- ・ 制約のある道路空間での自転車走行環境の向上
- ・ 多様な取り組みによる放置自転車対策
- ・ 自転車マナーの向上

#### 【 方向性に対応した施策案 】

- < 制約のある道路空間での自転車走行環境の向上 >
  - ・ 道路の再配分等による自転車通行空間整備
  - ・ 自転車レーン内での駐停車車両対策
  - ・ 商業施設や公共施設と連携した割引やポイント制度の導入
- < 多様な取り組みによる放置自転車対策 >
  - ・ 自転車シェアリングサービスの導入
  - ・ 駐輪場整備推進
- < 自転車マナーの向上 >
  - ・ 自転車利用時ヘルメット着用の推進

## 高齢者・障害者の移動環境の向上について

### 【 現状と課題 】

- ・ 活発に移動する高齢者
- ・ バスや徒歩、自転車の利用が多い高齢者・障害者
- ・ 高齢者が加害者となる交通事故の増加
- ・ バリアフリー対応となっていない駅
- ・ 短い健康寿命

### 【 交通政策の方向性 】

- ・ 健康増進を目指した歩行促進
- ・ 自動車に依存することなく移動できる公共交通
- ・ 地域と一体になったにぎわいある移動環境づくり

### 【 方向性に対応した施策案 】

- < 健康増進を目指した歩行促進 >
  - ・ 道路の再配分等による歩行・自転車や活動の場の創出
  - ・ 商店街での多機能トイレ整備推進
  - ・ 商業施設や公共施設と連携した割引やポイント制度の導入
  - ・ ユニバーサルデザインマップの作成・情報提供
- < 自動車に依存することなく移動できる公共交通 >
  - ・ 鉄道駅のユニバーサルデザイン化の推進
  - ・ ノンステップバス導入促進
- < 地域と一体になったにぎわいある移動環境づくり >
  - ・ 商業施設や公共施設と連携した割引やポイント制度の導入
  - ・ ハンドル形電動車いす（シニアカー）の認知の向上